

住民参加型のマルシェイベントの開催

一般社団法人まちなね浜甲子園（関係課：市民協働推進課）

事業費 305,760 円

助成額 167,000 円

●当初の課題・事業目的

引越して来て間もない新住民が多く、既存住民含めた住民同士の近所の繋がりが希薄・地域への愛着が薄いという課題に対して、既存住民も新住民もイベントで当地区への愛着や繋がるきっかけをつくることを目的に開催。また、将来の住民自治の担い手を育むべく、住民が担い手となれる機会を多様につくる。既存の団地中央広場を会場とし、エリア外住民も気軽に参加でき、地域と関わることの楽しさを感じてもらいイベントとなることを目指した。



責任者 奥河 洋介

●事業概要

2018年10月に初開催して以来、これまで3回実施することができた。「まちなねピクニック（略「まちピク」）」は、住民参加型の地域のお祭りイベント（マルシェイベント）として開催しており、デベロッパー、既存住民、新住民、周辺事業者が一体となって企画し運営している。約30団体が運営するブース出店には、ハンドメイド作家による商品の販売や已書・ダンスといった体験ワークショップ、近隣の飲食店といった、世代問わず人気のあるコンテンツを展開している。ブース出店者やステージ出演者、ボランティアスタッフに住民が参画することで、運営スタッフとして関わっている。また、UR都市機構や浜甲子園団地自治会、武庫川女子大学との連携も含め、こうした将来の担い手となる多様な場面づくりや新住民への街の関心を高める働きかけを行っているイベントである。



●事業の成果・工夫した点

事業目的である「担い手育成」に対して、これまで関わってきた、近隣大学の学生を巻き込んだボランティアスタッフの募集や新街区住民有志でのブース出店、近隣住民による会場装飾の制作といった、住民だけでなく地域に関わる人を巻き込んだ企画・運営を心掛け、みんなで創るマルシェイベントとなった。

●苦労した点・今後の課題

第2回は荒天のため中止という判断となったが、募集要項にて、開催中止となった場合の対応を明記しており、関係者への対応はスムーズに行うことができた。しかし、スタッフの必要な業務対応まで想定していなかったため、中止判断を含め、様々なケースに対応できるような対策が必要だと感じた。

●責任者の感想

ボランティアスタッフとして参加した学生より、「子どもやその保護者の方と触れ合うことができ、私も将来このようなまちに住みたい」という声をいただいた。近所の繋がりが希薄になっている中で、イベントをきっかけに地域への愛着心を育み、また魅力となることを願い、今後も継続的に実施していきたいと考えている。